

# KOBEKKO MAGAZINE

★ SEPTEMBER 9 ★ 神戸っ子  
1972 NO. 137

★ 神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可  
昭和47年9月1日印刷 通巻137号  
昭和47年9月1日発行 毎月1回1日発行





# 空

ヨロン島にて

Now back to humanity  
ただ一つの地球を大切に

株式会社 明 盛

神戸市生田区明石町18ノ1 泰和ビル6F

PHONE (078)331-0481 〈代〉

自然都市みずほ苑——明盛開発株式会社

神戸市生田区下山手通り5-21 協和ビル2F

PHONE (078)371-2551 〈代〉



花嫁の冠は「真珠」  
純白の世界に  
ひとときわ気品を添えます

●ミキモトのブライダルジュエリーをお使いください。全国の有名結婚式場にて、取りあつかっております。洋装用、和装用各種とりそろえてございます。お問合せは、大阪支店 TEL 341-0247 神戸店 TEL 21-0062 へどうぞ。

— 世界の宝石店 —  
**MIKIMOTO**

本店＝東京－銀座4丁目 TEL 535-4611

神戸＝三ノ宮－神戸国際会館 TEL 221-0062

大阪支店＝堂島－新大ビル TEL 341-0247

京都支店＝河原町蛸薬師上ル－BALビル TEL 241-2970

大阪＝高島屋・阪神・阪急・松坂屋

御木本真珠店©-1972

私は外へ出て見た<27>—— MAROC ベルベル族の女



アメリカの黒い人達にはうちひしがれた  
ウツロとカミ犬のようなイラダチを感じることが  
しばしばあった。  
モロッコの南の黒い人達は人間らしく  
至極あたりまえに生きていた。

(絵・文) 中西勝

MASARU NAKANISHI



# 神戸っ子'72

## 前進座のホープ

宮本圭子

〈前進座〉カメラ・藤原保之

この七月、地元神戸の国際会館で有吉佐和子原作、津上 忠脚色・演出による「出雲の阿国」で菊子役を演じ、ひとときわ目立つ好演で注目を集めたのがこの宮本圭子。

子供の頃、文楽が好きで一人で大阪までよく見に行っていたというからもともと芝居は好きなほう。神戸の山手女子学園卒業後は俳優座養成所で三年間演劇を学び、八年前前進座に入る。小柄でおとなしい性格だが、こと芝居のことになると人一倍熱心で、舞台上立つと見違えるようになる。また彼女、人間より犬が好きというほどの犬好きでもあり、拾犬をカゴに入れてコッソリ新幹線で神戸に持ち帰る途中、車掌にバレて大声で泣き出したというエピソードもあるほど。この舞台を契機にどんな演技を見せてくれるか、今後の活躍が楽しみだ。

〈写真・神戸国際会館の楽屋にて〉





# TASAKI PEARLS

+++++

あなたの  
佳き日に…

+++++

品質で世界に築くタサキの信用

## 田崎真珠

### ■本 社

神戸市萫合区旗塚通6-9

☎231-3321

### ■パールファーム神戸

神戸市灘区六甲台町24

☎871-9289

### ■さんプラザ店

神戸さんプラザビル・3F

☎391-4085

### ■大阪プラザ店

大阪・ホテルプラザ内

☎458-2449

婚約リングのカタログご希望の方は  
上記へご連絡下さい



ファッションブル二世

小原夏樹

〈小原流東京支部長〉カメラ・藤原保之

御影の小原流家元会館の坂道を白いスーツにブルーのシャツ、ブラックタイの豊雲氏二世夏樹さんが歩くと、木もれ陽にすずやかだ。

昭和二十四年生れ。幼稚園から大学まで甲南学園ですごしたという神戸っ子。この六月小原流の東京支部長になって華道界の最前線へ躍り出た。

「好き嫌いなく色んなことをやってみたいですね。その中から自分のパターンを掴んでゆきたい」と意欲的。花を生けさせると日本一だと評する父豊雲氏と共に、この秋のテーマ「環境と生花」にとりくんではいる。「花は女性ですね」と語る横顔にニヒルな一面を見せ「花を生けると一緒に、ファッションはトータルルックの組み合わせしだい」とスマートなルックスをセールスポイントにする現代っ子だ。趣味はスキーとヨット。

〈小原流家元会館で〉







# Pearl Creation

白への憧れ

白の椅子

White chair

白の真珠

White Pearl

白の花嫁

White Bride

憧れを真珠にそえて

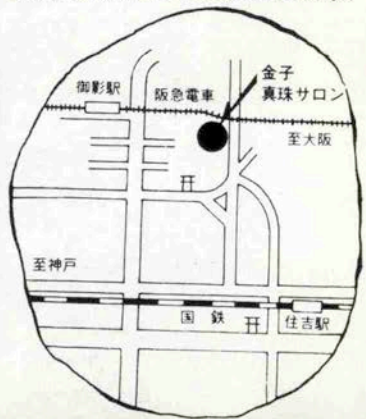
おしゃれをリードする………

## 金子真珠

神戸店：神戸市東灘区住吉町堂ノ本1824

Tel <81> 2881~3

銀座店：ホテルバジック店・福岡店・長崎店







ある集い



# JAPAN KOBE<O>

zero

1969/1 三宮美專堂にデッサン研究会として発足。

1970/9 大デッサン展(さんちか広場・出品者70名)

1971/7~8 研究所大アミダ

クジ当選者榎氏賞金により渡欧

研究所展(さんちかギャラリー)

1971/5 イベント「虹

の革命」140名出演

1971/9 第2回研

究所展

約40名出演

1972/7 JAPAN KOBE<O>

「ふり、ふり、ふり展」

(大阪信濃橋画廊・5名のチーム制作)

KOBE<O>展(大阪信濃橋画廊・

4名のチーム制作) 1972/

5 イベント「白布400㎡」

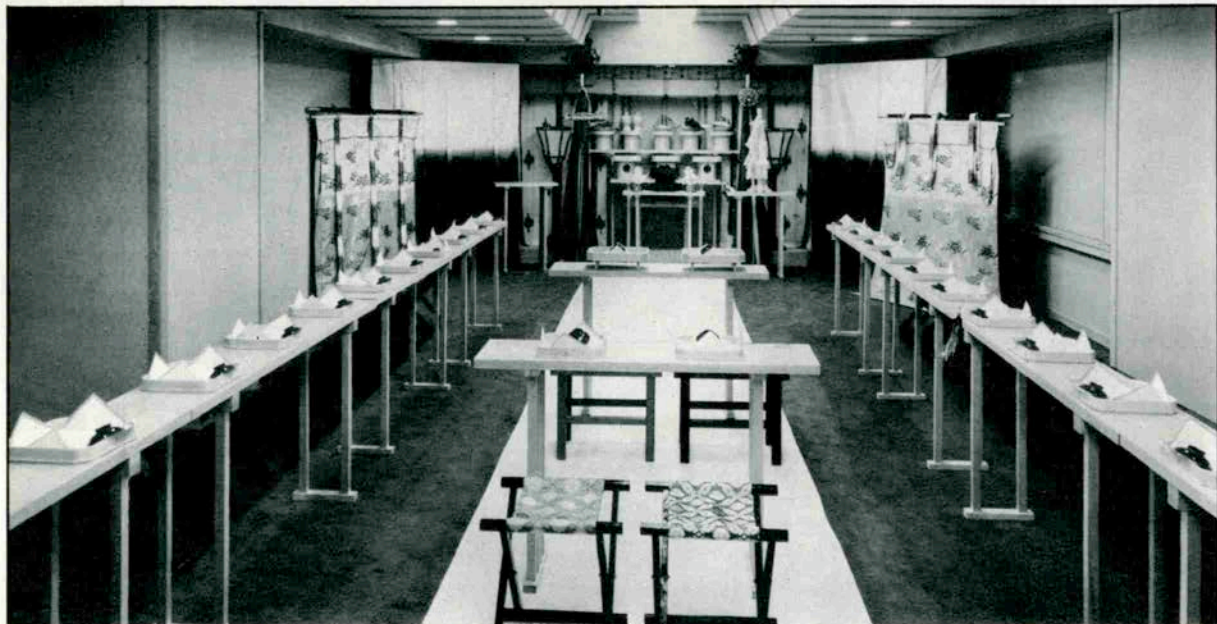
1972/7 JAPAN KOBE<O>

「ふり、ふり、ふり展」

(大阪信濃橋画廊・5名のチーム制作)

予定:1972/9. 7~13 第3回研究所展(さんち

かギャラリー) (写真は加納町三丁目歩道橋で、なお32頁もどうぞ)



## 明るい中にも厳粛なムード “幸せ”の佳き日に

式場・着付室から写真室まで ゆきとどいた設備が魅力。

ご披露宴

お1人様……¥2,500→¥5,000

(お料理・お飲物込)

30名様セット ……¥135,000

(挙式料・お料理・お飲物  
写真・卓上花・税サ込)



阪神電鉄グループ

神戸タワーサイドホテル

神戸市生田区波止場町1番地(中突堤)

TEL. 神戸(078)351-2151(大代表)

宴会予約 直通 神戸(078)371-0433



## 「海の記念日」 に開く花火

今年も「海の記念日」の行事が  
7月20日を中心に多彩に催された。

オリエンタルホテルの式典では  
永年勤続者、海事功労者が表彰を  
うけた他、港の写真コンクール、  
プラ模型競技大会等が行われたが  
強風のため、クイン神戸の海上パ  
レードは中止。花火打上げが延期  
になり、やや盛り上がりを欠いた。

写真 右 神戸大橋から  
下 北野クラブから 撮影





●詩のあるアングルへと

中村 隆

## 丘の上の病院

丘の上の病院は

黄疸<sup>けいだん</sup>のように黄いろく変色して  
雨雲の下に立つ

閉じた窓の一つ一つが

口を覆われた捕虜<sup>ほりこ</sup>のように

物言いたげに街を見下している

きょうもあの部屋では

胃を切りとつたり

縫い合わせたり

酸素吸入の目盛りが

静かな時を刻んでいるだろう

ひとをひととも思わぬ

メスや 鉗子<sup>かんし</sup>や 注射器<sup>しゅうしき</sup>が

器械のままの姿で

そこに置かれているだろう

この病める戦艦は

きょうも飢えることがない

人間に死がある限り





# 坂の下の 高層ビル

坂の下の高層ビルの

コケラ落しは

台風10号

華やかな祝辞の済んだあとは

窓という窓

干し物の満艦飾だ

きょうも あの部屋では

玉葱を炒める音と

女房の繰り言

ガキの泣き声が

狭い空間にこたましているだろう

ひとを ひととも思わぬ

壁やドアや 水先便所が

思い思いの方寸で

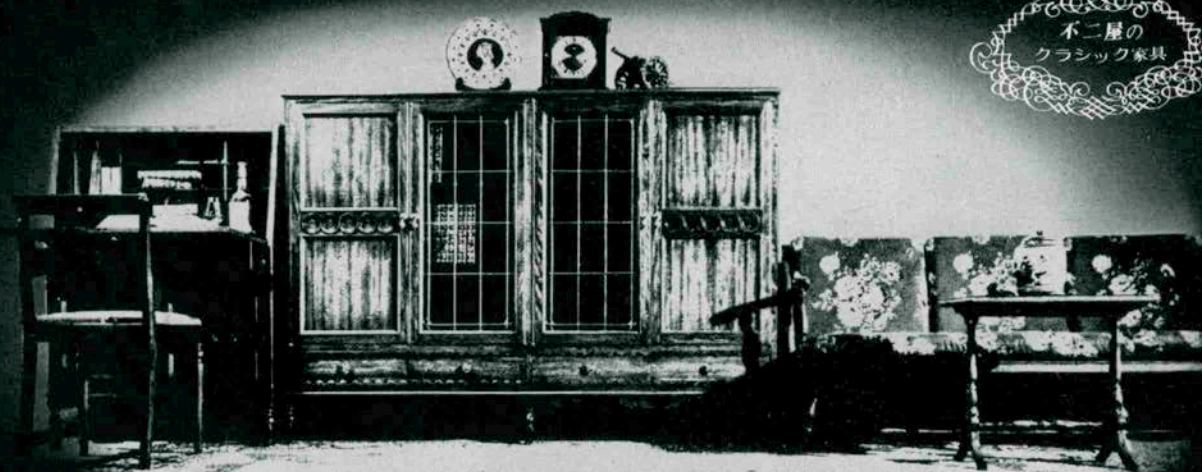
優先権を主張しているだろう

この病めるピラミッドは

きょうも渴くことがない

人間の生がある限り





洋燈の灯り  
色硝子  
赤煉瓦の  
異人館に  
歐羅巴は  
佛蘭西  
魯乙王様好みの  
家具がどつしり  
座つてゐる  
港 神戸で  
文明開化の  
百年前から  
親方 子方と  
傳へ 傳えた  
職人藝が  
年月構わず  
造つた 上等

創業明治8年 東京新宿京王百貨店(6階)不二屋コーナー新設

 不二屋

生田区三宮町3-5 TEL (391)0535



まいしょっぷ



“まる”と“しかく”  
相反するフォルムが  
クライアントと  
コンシューマーに  
友情を芽ばえさせて  
くれるでしょう

グランド六甲ボウル プロショップ

入船KK設計・施工

い ぬ ぶ っ ぽ

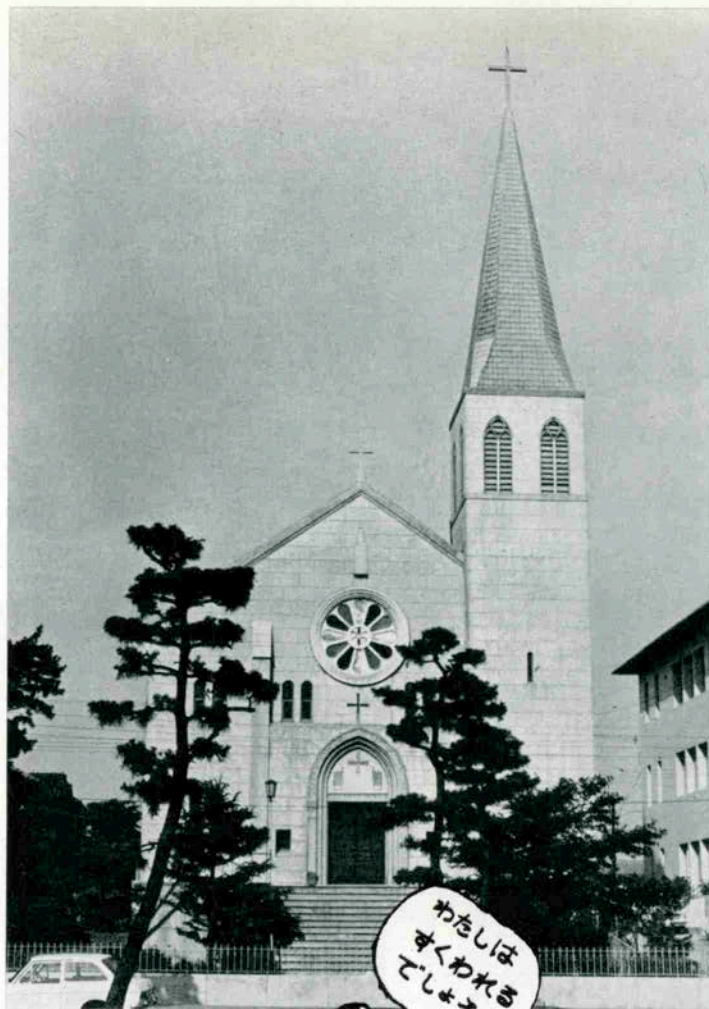
店舗住宅の新改装・家具・室内装飾  
企画・設計・施工のオールマイティ  
入船株式会社  
神戸市灘区友田町 5-2-2  
☎ (078)851-3191

コラージュコミックス

9

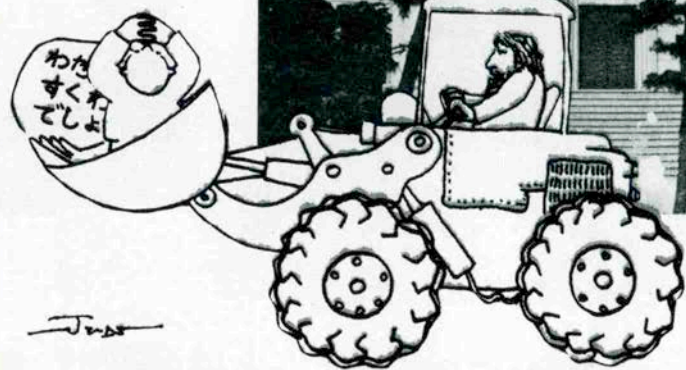
# 教会

岡田 淳



わたしは  
ずくわれる  
でしょうか







# 神戸っ子のNOWな感覚の店

●スタンハイムチェーン店



★新しく誕生したファッション ディスコ

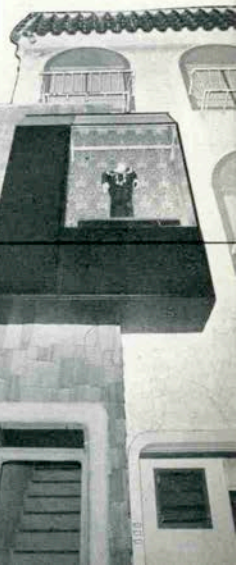


★ファミリーファーマシィは今迄にないNOWな感覚のファッションディスコ。ウエイトレスのドレス・ディスプレイまで、コシノヒロコさん「ファッションデザイナー」の作品です。

★店のメンバーになられた方には数々の特典・お楽しみがあります。

★当店はPM 7:00よりチケット制となっていますが、チケットはオードブルとドリンクのセットになっています。チケット料金にはセットへの税金・サービス料が含まれていないので、お気軽に営業時間いっぱいお楽しみいただけます。

- ・チケット料金  
メンバー ¥1,300  
ゲスト ¥1,500  
フリー ¥1,500
- ・キープボトル原価
- ・メンバー入会金  
／1万円



●当社K Kスタンハイムチェーン店の料理構成は、六甲クラブ料理部長西久保実（料理経験35年）さんによるものです。

ビザハウス ス タ ン ハ イ ム  
三宮センター街 TEL 391-970/

レストラン 六 甲 ク ラ ブ  
六甲ケーブル駅下 TEL 861-4121-2  
A.M.11:00~P.M.11:00

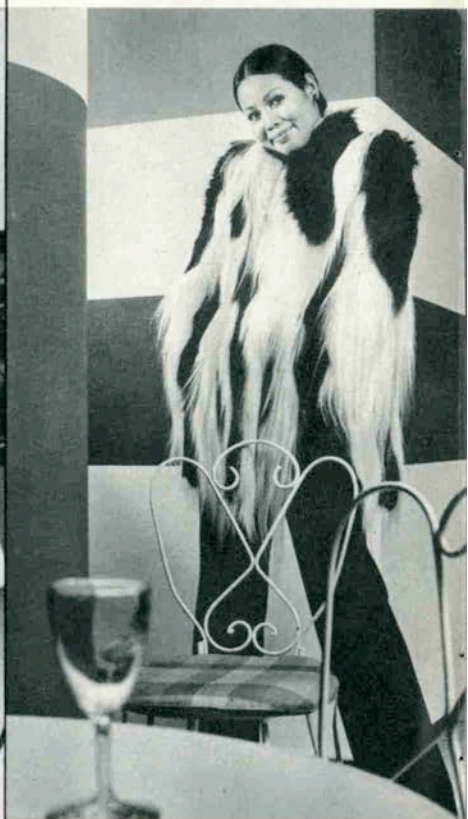
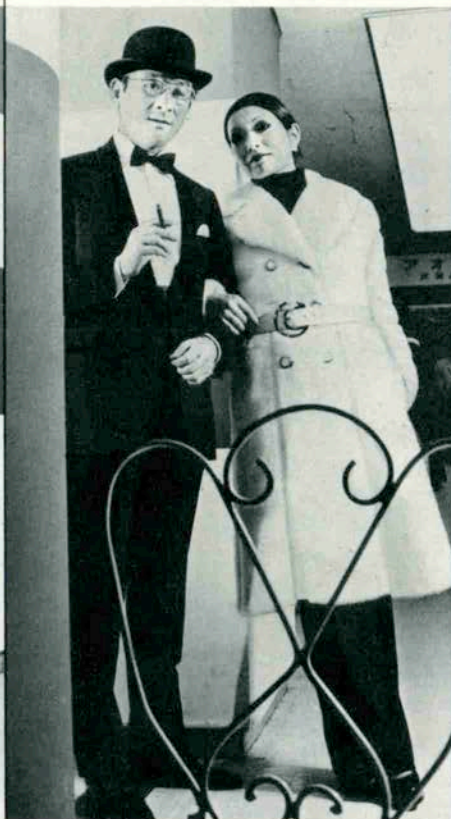
ファッション ディスコ ファミリーファーマシィ  
神戸市東灘区魚崎北町5丁目9ノ24  
TEL 441-4163  
P.M.12:00~A.M.3:00





# '72-'73 Fourrures Parisiennes, Collections

パリの香りをそのままにベニー毛皮店では'72〜'73  
の毛皮コレクションをつぶよりでそろえています。



● ポップな作品はカラフルな点が目立ちパンタロンやジーンズの上に着るブルゾンや6分丈のコートが多く、クラシックな作品は豹、オセロットなど、すばらしいもので、ランタンスリーブやキモノスリーブの背からフレアーのあるシルエットが印象的。

**三毛皮店**

神戸市葺合区御幸通8丁目  
神戸国際会館1階  
PHONE(078)221-3327



△逸品を求めて五〇〇〇キロ

大ドイツ展開催にあたり私たち買付団の一行は、さまざまのドイツの街を訪れた。メーテルリングの青い鳥ではないが、どこまでもどこまでも訪ねて逸品を探し求める旅であった。西ドイツの玄関口として隆勢を誇るハンブルグを振り出しに、ハンザ同盟の面影を残す北端の古都リュール、バックをはじめ永々と一三〇〇キロにわたって貫流するラインにそって連なるいわゆるロマンチック街道を毎日五〇〇キロの行程で南下して行つた。世界的規模のフランクフルト国際見本市、オッペンバッツハ皮革商品市には約十日間を費した。南部バイエルンの片田舎や東独の街々にまで及んだ。ヒットラーの遺産と言われる縦

★ドイツの旅(2)

## 大ドイツ展に よせて 森 透

(そごう神戸店販売推進部長)



横に走るアウトバーン(高速道路)の利用は時間から言えば非常に効率は高かったけれども、ドイツ国内二〇日間五〇〇キロに及ぶ走破はなかなかのハードスケジュールでもあった。

一般には、ゲルマン気質の堅物さが云々され、賢くがっちりとはしてはいるが楽しさも融通性もないドイツのイメージが想像され勝ちであるが、見ると聞くでは大きく異なり、他のヨーロッパではとうてい見られない魅力が随所にあった。家庭的なホームパーティーやら、飲み、歌い、踊り狂うカーニバルなど想像もしなかった旅の楽しさが待ち受けていた。

とりわけドイツ人はなによりも日本びいき、それに親切

清潔、勤勉……日本人と共通した特質があり、言葉の障害がなければ全く日本に居るのと同じ感覚でビジネスがすすめられた。

△世界に誇るドイツの品々

大ドイツ展出品商品はすてきなデザイン大胆な色使いの洋服、ハンドバッグ、アクセサリなどファッション商品ははじめ、欧州NO.1の窯業独マイセン磁器、カラーフルなバイエルン陶器、ユニークなデザインの金属ペックトインテリア、趣きのある銅製品、銀器、美しい照明器具、使い勝手の良い台所用用品、楽しい民芸品、おもちゃシックな寝装品、それに自慢のビール・ソーセージなどの食料品、あらゆるバラエティで大スケールの展開となる。いずれも日本にはじめてお目見えするものばかり、海外催しの決定版とも言える品々である。

ドイツの商品に一貫して流れているものは伝統とロマンチック、それに生活のすみずみまで研究しつくした緻密な合理性であろう。さらに言えることは世界一級品としての誇りである。

買付けの時点での彼等の第一声はいづれも「私のところの商品は世界一すばらしい」と自信を持って断言する、良品、信用を重んずるドイツ気質の披露である。

他のヨーロッパの諸都市に比べ、ドイツの街々は戦後の復興はめざましい。ハンブルグの中心街メンケベルグもデュッセルドルフのファッションブティックも美しいシヨウインドウ展開で、すばらしい商品の洪水の中に賑いを示している。シンボルの紋章ワシの羽ばたきのごとく力強いバイタリティーで雄々しく繁栄を続けるドイツエランドである。

△大ドイツ展のよびもの

ヨーデルの聞えるビアレストラン、現地からといたオリンピック写真、昔なつかしカルツァイス光学器、マイセンコレクシヨン、グリムの絵本から飛び出たお菓子の家、ゾーリンゲンの刃物コーナー……そごう Deutsche Messeは楽しい内容をふんだんに盛り込んで、全ドイツのハイライトをみなさまにご披露いたします。

五輪の祭典と時を同じく華かに開幕!



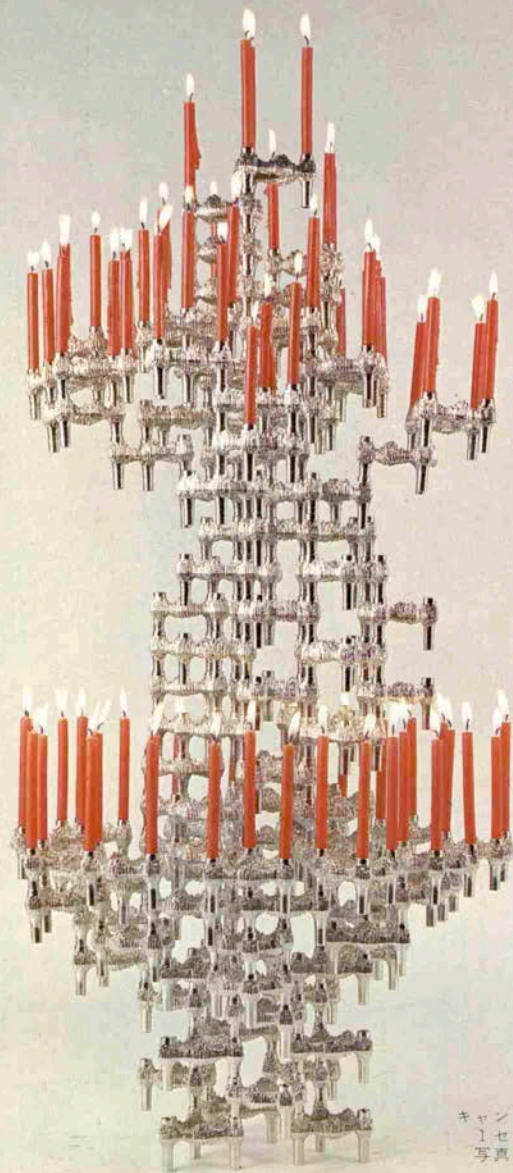
# 大ドイツ展

★現地直接買付けによる最大の海外展

## Deutsche Messe

9月1日(金)→9月6日(水)  
7階大催会場

ヨーロッパの粋  
魅惑のドイツインテリアの数々



キスト社  
キャンドルスタンド  
1セット 2,000円  
写真は 100本違い  
200,000円



ドイツ  
バイエルン地方民芸陶器  
花びん・ジョンキ  
5,500円～20,000円





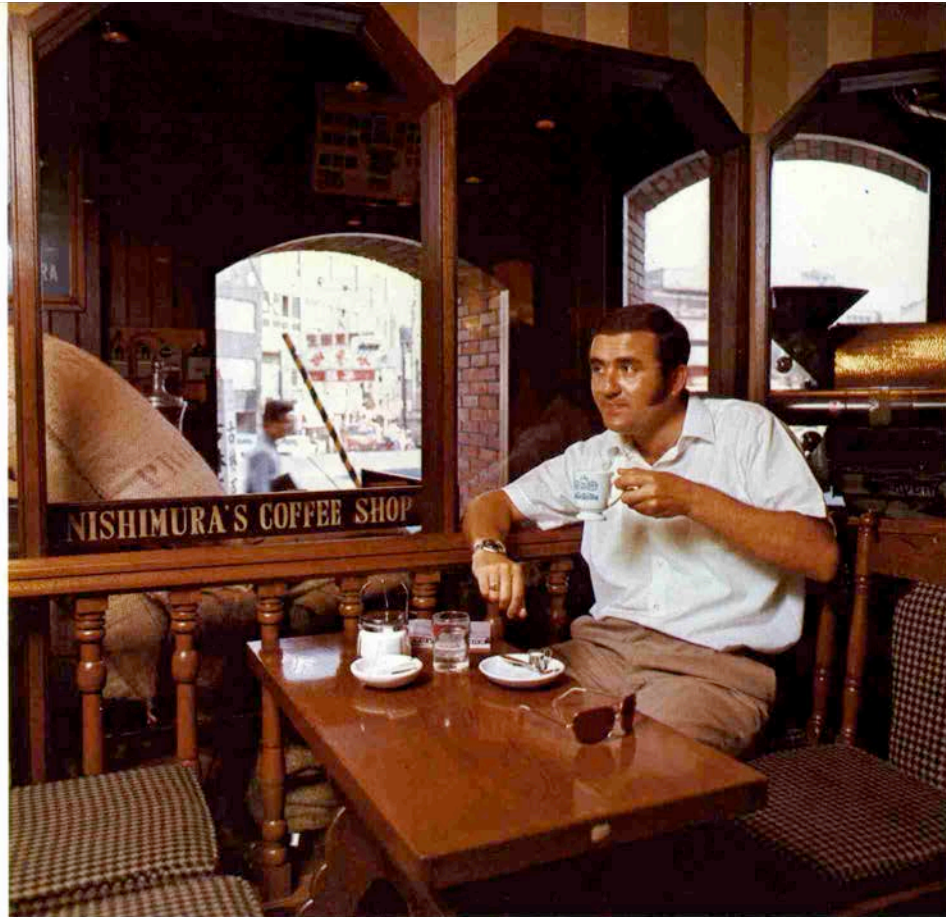
松林が美しい芦屋川、ユニークなルナホールと並ぶ白い館「芦屋川アーバンライフ」の地下中央一階に、NOWなインテリヤのCOFFEE & MUSIC LARQ が誕生しました。  
居心地のすてきなスペースで、ママのやさしい心づかいと手料理の味。そして、美味しいコーヒーと気軽な値段の洋酒が評判のプレイススポットです。

- 設計  
福田武  
インテリアデザイナー
- 施工  
インテリヤ ヨシエ

## COFFEE & MUSIC LARQ



芦屋市業平町8番14  
芦屋川アーバンライフ B1  
PHONE (0797) 31-8353  
A.M. 11:00 - P.M. 11:00



■エトランセとにしまらへ9

C・R・メイキンソンさんへエドワード テイロバートソン アドソン 香港支店長へ

忙しいビジネスのあいまに飲む珈琲の香り  
ベリーデリシヤス!とほっとひといき



宮水COFFEEの

にしまら 珈琲店

中山手本店<中山手1丁目電停前>221-1872 午前8時30分-午後11時  
石屋川店<阪神石屋川駅浜側>841-0763 午前8時-午後10時  
センター街店<三宮センター街>391-0669 午前10時-午後10時



Serizawa

# FALL \* SINCERITY

「シンサリティーファッション」はおしゃれの誠実な化身です



秋の足音が教えてくれる新しいエレガンス、さまざまなプランにふさわしいセリザワ

## セリザワ

\* 婦人服飾・紳士服飾 \*

■神戸：大丸前紳士服飾店・大丸前婦人服飾店・三宮センター街店・さんちかタウン店・さんプラザ店 ■大阪：梅田阪急三番街店・心斎橋バルコ店・ミナミ地下街虹のまち店 ■東京：東急百貨店日本橋店・東急百貨店渋谷店・池袋バルコ店 ■京都：藤井大丸店 ■姫路：やまとやしき店



- 12 詩のあるアングル／中村隆
- 16 コラージュコミックス
- 27 わたしの意見／安部義人
- 29 随想三題／シュルジェット・川合／ロベルト・バトリシア・新谷
- 32 ある集いの足あと／「0」の会
- 34 随想／古林喜楽
- 36 インタビュー／長門裕之・南田洋子夫妻
- 41 神戸っ子座談会／浅田神戸大丸店長／佐藤
- 46 経済ポケットジャーナル
- 49 技術ジャーナル
- 50 ポエム・ド・コウベ
- 62 神戸のアーバンデザイン／神戸のモダン
- 64 世界の福祉施設ルポ (18)／橋本明
- 66 動物園飼育日記 (76)／亀井一成
- 100 北神戸を行く／山田の鷺尾家
- 107 対談／田辺聖子・筒井康隆
- 116 風俗学入門／向井修二
- 118 神戸遊戯誌108チェス①／青木重雄
- 120 途長立見席 (9)／淀川長治
- 122 Talk of Town
- 124 女体百景／細川董
- 126 ぴっといん
- 129 神戸百店会だより
- 130 ポケットジャーナル
- 134 連載小説・異人館物語／小山牧子 え・石
- 142 連載小説・曲線ハイウェイ／武田繁太郎
- 154 Angle Kobe／カメラ・一ノ瀬元子
- 156 海・船・港／新さくら丸をたずねて

カット／岡田 淳 カメラ／米田定蔵・藤原保





だれかが 風景をぬりかえています  
だれかが 季節の扇をたたいています  
だれかが 階段をおりてきます  
わたしの心に さざ波をたてて……

東京・ギンザ

*San-ai* | 三愛

三宮店

センター街さんプラザビル2・3F  
AM11:00~PM8:00 ☎391-6861

☆わたしの意見

## 近ごろの

## 神戸

安部義人

〈朝日新聞神戸支局長〉



十二年ぶりに神戸に帰って、もう一年近くになる。二十七年正月から七年半あまり、新聞記者として、サツ回町だけに、思い出は多い。懐しい人とも大勢再会できた。だが、最近は何となく出るのが、妙におっくうになってきた。その原因はなんだろうか、と時々自問してみるのがはつきりなかった。

ついこの間、OB神戸支局会というのをやった。二十五年ごろから三十五年まで、神戸支局に勤務したことのある新聞記者の集りである。とくに定年になった当時の支局長やデスク、すっかりおとなしくなってしまうたキヤップもまじえて、わあわあ、がやがややっているうちに、だれかが「神戸にはにおいがなくなった」といいはじめた。

近ごろの神戸の変容はすさまじい。三宮で電車を降りて、支局までくる間に、地下街で迷子になりそうだったというOB。わざわざ宴会場まで元町通を歩いてきた人は、むかしなじみの喫茶店の看板をさがすのに一苦労したという。ビルがふえ、道幅はひろがり、商店のウインドははなやかになった。だが、その町並みには神戸らしさが消えて、東京、大阪と変わってしまったというのだ。

ホルモン焼のけむりがただよっていた三宮のジャンジャン町や、細い道をへだてて、なにやら得体の知れない中華料理の材料を売っていた南京町は、改造ビルに変わったり、道幅がひろがって、すっかり面影はなくなってしまう。静かだった中山手にまでバーや、ホテルが進出している。海岸通だって、不粋な高速道路が走って、プロムナードとはいえなくなってしまった。

「神戸ににおいがなくなった」——それは神戸の都心にう市民生活がなくなったということだろうか。生田葺合の人口は年々減少しているのに反して、垂水や北神地区の人口急増は目を見はるほどだ。神戸の中心街もただ働くだけ、もうけるだけの町に変わってしまったのは味気ない。どうやらわたしの出不精の原因はここにあるようだ。





格調高い雰囲気とまごころあるサービスで、おふたりの新しい人生の門出を、豪華厳粛に演出申し上げます。

## ニューポートホテル

神戸・三宮フラワーロード TEL.231-4171  
内線 274・266

Happy Marriage



挙式料 8,500円

御披露宴 3,000円以上

御新婚様にお二人の晚餐券及び記念品贈呈  
ご一報しだい係員を参上致します。

新大阪ホテルチェーン

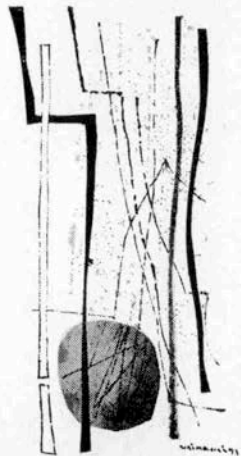


## 神戸国際ホテル

三宮・神戸国際会館内 電話(078)221-8051  
神戸市葺合区御幸通8丁目9-1

# 随想三題

—結婚特集「日本の男性、日本の女性」—



カット／南和好

## 滞在八ヶ月の印象

ジョルジュ・エット・川合

〈甲南大学講師・川合清隆氏夫人〉



わたしが彼に出会ったのは、大学へ行くのにオートストップをしたときです。二人とも、リヨン大学文学部に籍を置いていて、大学寮に住んでいました。寮が交通の不便なところにあつたので、大学へ行くのにオートストップをする習慣があつたのです。その日は雨が降っていて、私のために止ってくれた車には、すでに彼が座って

いて、私はその隣りに座ることになったのです。それが最初のきっかけですね。

今では私は日本人と結婚して、日本に住んでいるわけですが日本や日本の男性についてどう思うかということですね。

日本人である彼と交際することに興味を持ったのは、やはり彼が私には、外国人で、エキゾチックな面があつたからだと思います。若い人なら、恐らく誰でも外国人の異性との交際には興味を抱くでしょう。相手の人を通して、自分の知らない別の世界を見るという興味がありますから結婚を決意するのにも、このことはかえって積極的な作用をしていると思います。結婚して、日本へ来て、家族やいままで住んでいた町を去ってきたわけですけれども、一方では、結婚が家事と育児だけでなく恋愛と遠い知らない国での生活というロマンチックな要素を得るので、それが国

際結婚を踏みきらせる勇氣になつていふと思います。

こんなふうに話すと、私は「彼個人」と結婚したのではなく、「ある一人の日本人」と結婚したやうなぐあひになつてしまひますが、彼個人が私に氣に入つた点は、いろいろなことで見解が一致すること、いつてみれば人生観が共通しているからでしょう。それに彼といればいろいろなことが一緒に出来て、退屈しないだろうといふやうな感じの魅力があつたからです。日本に住みはじめて八ヶ月になりますが、印象はといえば、氣候は冬はとても快適ですが、夏は暑くて大変です。地域的には、阪神間の様子がわかつてゐるだけですが、海と山がせまつていて、その間に人口が密集して、自然環境でも、生活環境でも、フランスより厳しいという印象を受けます。日本人については、生活をエンジョイするといふよりもよく働くといふ面が印象として残ります。人々の表情を見てみると、不幸だといふわけでもないが、それかといつて幸福そうにも見えない。ただ生活は少し重そうで、生きてゐる以上生きていかなければ仕方がないといふ日常的生活感覚が、フランス人よりも日本人の方に目立ちます。知り合ひになつた日本人の家庭生活では、夫と妻の役割がはつ



きりと区分されていて、妻は夫の影に隠れていて、妻と夫が家庭生活でも同じ水準に立っていないという印象ですね。

いまのところ、日本での私の生活は特に困難なこともなく、快適で、出来るだけ早く日本語をマスターしたいと思っていますのですが、それが最大の難事のようなのです。

## 一生住んでいたい 神戸の街

ロベルト・バルボン

〈野球評論家・カポネ経営者〉



私がキューバからプロ野球選手として日本へやって来てもう十七年になります。当時は、阪急ブレーブスのメイン球場のある西宮に住んでいたのですが、日本に来て一番困ったのは言葉、それに食べ物です。昭和三十年代という食堂に入っても私達の口に合うものは少く、今では、レストランなるものの数も、種類も豊富ですが、当

時はあってもカレーライスとチキンライスだけ、仕方がないので毎日日カレーライスとチキンライスはばかり食べていました。だから今では、これだけは食べようとは思いません……。

私が私の奥さんと知り合ったのは日本に来て五年目で、西宮に住んでいた彼女はよく応援に来てくれました。日本の人は一般に真面目で親切ですが、私が彼女に持った第一印象も親切だったということです。

結婚してからも全く変わらず、料理は上手だし言うことなしの奥さんです。それに、今では小学二年生の娘がありますが、私と娘のことを本当に理解してくれています。

千本安打、千試合出場、オールスター出場二回の思い出深いプロ野球生活から足を引き、神戸で「カポネ」という西洋料理店を開いて早や六年になりますが、まだまだ野球には未練があつて、昼間はよく球場に出掛けます。でも神戸の街を歩いていると必ず、現役時代の私を知ってくれているのか、「バルボン！」と声を掛けてくれます。そんな時は本当に嬉しいね。すっかり神戸では顔見知りになり友達も多く出来て、全く悪い事は出来ません。

しかし、日本は変わりましたね。もう日本には無いものは無くなり

ましたし、私が神戸へ来てからの数年間のうちでもころりと変わりました。特に若者全体が本当に自由という感じになり、例えば数年前の学生さんは黒い制服とつめ髷と決っていましたが、近頃ではめったに見られなくなっています。また。日本の男性は結婚してからよく遊ぶといわれますが、私も同感です。よく遊ぶというのは語弊があるでしょうが、街で食べた、飲んだりして夜遅く帰る人が多いですね。それに、日本の奥さんもあまり怒らないようで、男性は余計いい気になって遊んでいるようです。キューバでは三日間でも続けて帰宅が遅いと、奥さんは怒って、ただでは済まないですね。日本の女性の優しいのは結構だが、そんなところではもっと怒ってしかるべきだと思います。私の家でも私の帰宅が遅れると事故でいいますから、男性も考えなくてはと思います。

しかし、よく考えてみると私はキューバでの生活より、日本の生活の方がもう永くなります。キューバの思い出より、日本の思い出の方が、キューバの友達より日本の友達の方が比較にならない程多いです。それに、ここ数年神戸にいて思うのですが、神戸は本当に素敵な街です。一生ここに住みた

いですね。神戸のバルボンでいた  
いです。

## いつも一緒に……

パトリッツァ・新谷

〈彫刻家・新谷瑠紀氏夫人〉



私達のはじめてめぐりあったのは、イタリアのフェラーラ市、ダ  
イヤモンド宮殿で『エミリオ・ゲ  
レコ大展覧会』があった時です。  
それ以前も同じ大学で顔を合わし  
てはいましたが、その展覧会で会  
ったのがきっかけで、間もなくベ  
ニスから百キロ程南にあるポー河  
の近くの教会で式を挙げました。  
昼も夜も霧の都ロンドンというよ  
うな感じで、河面から立ちのぼる  
霧に、クリスマス灯がちかちか  
光っていてとてもきれいでした。

ローマで三ヶ月半程の新婚生活  
を経て日本に今年の四月に來まし  
た。外国の男性と結婚するのは非  
常な決心がいるだろうと皆にいわ  
れますが、別段そんなことは考え

ませんでした。イタリアのお友達  
に比べて、彼には非常にきめの細  
かい優しさと誠実さがあり、環境  
などということは全く考えません  
でした。

イタリアにいる時に特別試写会  
で『愛ふたたび』という映画を見に  
連れていってもらったのですけれ  
ど、その画面に映った日本の電車  
を見てあまりにも満員なのでびっ  
くりしてしまいました。実際日本  
に來てみて、やはり人口はイタリ  
アから考えると想像を絶するとい  
っていいと思います。衣・食・住す  
べてが違った環境で、もの珍しく  
もあり、不安でもありましたが、物  
価が安く、住みやすい国です。日  
本に來て一番困っているのは言葉  
ですが、言葉でとつても面白いこ  
とがありました。例の映画を見て  
いた折に、痴漢の話が出て、日本  
語でそんな人のことを『スケベ  
エ』というけれどももう一つの意味  
があつて、男の人に対する敬称で  
ミスターの意味があると教えられ  
たのです。そこで、日本の男性に会  
うと『スケベエ××さん』と挨拶  
していたんです。皆、変な顔をす  
るし、ゲラゲラ笑うんです。でも  
私は、そう思い込んでいて、後で  
嘘だと言われても信じられなくて  
困りました。それから、お寿司が  
食べたいと思つて外へ出掛けた時  
に、もう今日は売切れたというん

です。店の前のケースには、まだ  
まだたくさん並んでいたもので、『ア  
ソコニアルノニ』というところ、そ  
れは、ロウで作った立体マニュー  
だったのです。今になってみると、  
おかしいことばかりです。

私は以外にも日本の女性らしい  
ところがあると彼に言われるので  
すが、それは、私が日本の男性の  
妻として日本の女性らしくしてい  
るのではなく、私の性格だと思  
います。イタリアでは女性が男性  
に尽すということは少ないよう  
で、反対に男性は奥様を失うのを  
恐れていて、サービスしているよ  
うなところがあります。日本とは  
全然違います。それに、日本の男  
性は奥様を放っておいて行動する  
人がほとんどです。北野クラブ  
に連れていってもらったことがあ  
るのですが、その時に、なんと日  
本の国には、奥さんとうまいこと  
いかない人が多いのかと思ひまし  
た。私が今まで見て來た夫婦はい  
つも出掛ける時は一緒に、特に夜  
出掛ける時は、独身の人が奥さん  
の亡くなった人以外はほとんどと  
いっていいくらい二人で出かけま  
す。日本もやはり、男性一人で楽  
しむのではなく、奥さん同伴で行  
動すればもっと素晴らしい家庭が出  
来るだろうと思います。私は、これ  
からもいつも二人で出掛けるつも  
りです。



## ★あるつどいその足あと

JAPAN KOBE〈0〉たろ

古川 清

JAPAN KOBE〈0〉(略称0研究所)は過去四年間イヴェント、ハブニング、展覧会、パーティ、etcの活動に積極的にとりくみつつ、現代の芸術のあり方を常に考えてきました。ここに、活動の全てを紹介したいのはやまやまですが、その一部だけでも。七一年五月神戸カーニバルでのイヴェント「虹の革命」は、日中六時間に及ぶ一大ページェントとして出演者一四〇名とその観客が一体となつて共鳴と感動につつまれたなか、にその幕を閉じたのがつい先ほどのように思われます。また今年三月大阪信濃橋画廊での「JAPAN KOBE〈0〉」展では大砲、弾丸、解体機を四人による共同作品として発表した時、解体機を回し、物をぶっこわし、大砲をぶっぱなしはじめた。途端に画廊主が泡くつて飛んできて曰く「通りの向いに銀行はあるし、赤軍派の事件の直後でもあるから、やめて下さい!!」「静かにうちますからもう三発だけうたして下さい。お願いします。」「絶対静かにね」「ハイ!!」直後にドッカン!!! (量を最高に多くした) どだい静かに大砲がうてるわけありません。展覧会の

後、この大砲はとあることから警視庁の取り調べを受けることになり結局、芸術的大砲ということので許可されました。で市内では時々ぶっぱなしていますので大砲と製作者を見られた方もあるかと思ひます。続いて五月神戸祭「白布四〇〇㎡のイヴェント」は研究所のメンバー三〇人で、祭地帯で四〇〇㎡の布と二五mの赤い筒になつた伸縮性の布を使って大いにあ



美専堂でのデッサン風景

ばれ、最後には東遊園地南の噴水に白布をかけようということになり、水に入つて必死の思いでおおいつくした時の皆の興奮、一瞬誰も彼も拍手を惜しみませんでした。これも当初研究所のメンバー七〇名(平均年齢二二・五歳)が、大体において基礎たるゼミナールやデッサン、油絵を地味に研究、学習してきたなかでつちかわれてきたものと考えます。

次に主たる目的としての開かれ

た研究所としての使命を果たすべく、時点に立つて言を進めてみれば、前述したように我々はゼミを設けておりますが、このことは芸術の歴史と概念を如何に認識し、神戸の地、または世界に実践の符を打つかということにあり、我々のゼミを中心とするチームの実際行動は、他に類をみぬ、フレッシユな実際の芸術運動として横への広がりを意図するものであり、生活の場を根本的に自由の場に近づけようとして、必死に生きるということへの問いかけであり、自由を希求するところにその原点を見い出そうと思うのです。いずれにせよ我々の考える現代は、我々の内にその問題の大半を内包する以上、現代というものを他動的に受けとめるに終始しては、現代そのものから後退していくより仕方がないでしょう。かといって今ある諸現象を目前にしてすぐにも単独的に自立がはかられるものでもないと考えるならば、この多様な現代に対すべき試みとして、我々の考える新たなチーム活動の有効性が最大限に生かされるべき方向で試行していくなかにこそ新しい価値の創造性を暗示しているのではないでしょうか。

JAPAN KOBE〈0〉

神戸市美合区布引町三丁目一

美専堂内 TEL二二二一—〇四五



●神戸六甲ライオンズクラブ10周年記念

# 働く若人の祭典

★あつまれヤング★

## *let's go young!*

□と き 10月29日<日>PM4:30-7:00

□ところ サンボーホール(入場無料)

□ぶろぐらむ／出演者

フォーク ★青い三角定規★ツベルクリン★ムッシュー

ロック ★M.R.Q★リンドアンドリンダース

サンバ ★古谷哲也+ 甲南大ブラジル研究会+ 神戸っ子チーム

□参加資格

神戸市に在住在勤の働く青少年

□申込方法

往復ハガキに住所・氏名・年令・勤務先を書いて  
下記へお申込みください。先着500名。〆切9月25日

□宛 先

神戸市葺合区小野柄通8丁目三宮ビル6F

神戸六甲ライオンズクラブ「働く若人の祭典係」

■主催／神戸六甲ライオンズクラブ

■後援／兵庫県青少年局・神戸市市民相談部

神戸新聞社